

1. 事業の位置付け

事務事業名	無形文化財保存事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課 文化財保護担当		
予算科目	01-100501-040000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	04	4 価値ある歴史的遺産を守り伝える環境をつくる	
根拠法令等	文化財保護法		
対象・受益者	民俗芸能継承団体、一般市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
郷土芸能が継承・保存され、後継者の育成が図られています。		郷土芸能の継承と後継者の育成を図るため、民俗芸能まつりの開催、演技指導者の派遣、文楽人形伝承団体及び指定重要無形文化財の保存に対する支援などを行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	民俗芸能まつりの開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	1	1			
活動指標②	指標名	人形浄瑠璃芝居保存団体数						単位	団体
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			3	3	3			
成果指標①	指標名	民俗芸能まつり参加団体数						単位	団体
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			5	5	5			
成果指標②	指標名	民俗芸能まつり参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			400	400	400			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
無形文化財の保存と伝承を目的に、市内の民俗芸能継承団体による第3回ひらつか民俗芸能まつりを平成19年11月18日(日)に中央公民館大ホールにおいて開催した。当日は、多くの市民の来場があり、市内に伝わる郷土の民俗芸能について理解を深めた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	長い歴史の中で守り伝えられてきた無形文化財について理解し、郷土の民俗芸能が保存・継承され、後継者の育成につながるものであり、必要性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続することが、無形文化財について市民の理解と認識の向上につながり、有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	無形文化財の保存・継承を図ることは、郷土の文化についての理解につながるという考えから、継承団体に対する補助金交付は妥当である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業の運営方法を検討するなど、コストの削減を考えたい。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

必要性、有効性、妥当性の評価は高いが、効率性の部分で、事業の運営方法を検討することにより、コスト削減につなげる。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				民俗芸能まつりの 開催、補助金の交 付	民俗芸能まつりの 開催、補助金の交 付	民俗芸能まつりの 開催、補助金の交 付		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,188	1,489	1,968	0	0
事業費 (A)		0	0	1,188	1,489	1,968	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	66.55				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.20	1.20	1.20	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.15	0.15	0.15	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	10,584	10,584	10,584	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	11,772	12,073	12,552	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 文化財保護法にのっとり遂行する必要がある、現状維持とする。	
平成21年度取組方針	
無形文化財の保存・継承には、その公開も重要な要素である。したがって、事業は現状の規模で行うが、運営方法を検討し、経費節減を図る。	
課長コメント	民俗芸能団体の育成は、文化財の保存・継承には大切なことであり、引き続き助成が必要である。今後は、特に後継者の育成事業についても充実する。